

# GitHub

Akihiro Minamino

August 11, 2020

## 1 GitHub とは

GitHub は、コードを共有するための場所を提供している Git リポジトリのホスティングサービスである。

## 2 Mac への Git のインストール

Homebrew を用いてインストールするのが簡単である。

```
$ brew install git
```

インストールされて git の version は、以下で確認できる。

```
$ git --version
```

## 3 Git の初期設定

次に Git で利用する名前とメールアドレスを設定する。

```
$ git config --global user.name "Firstname Lastname"
```

```
$ git config --global user.email "your_email@example.com"
```

さらにコマンド出力を読みやすくする。

```
$ git config --global color.ui auto
```

上記の内容は、設定ファイル `~/.gitconfig` に書き込まれている。

## 4 GitHub の利用準備

### 4.1 GitHub アカウントの作成

GitHub のアカウント作成ページ <https://github.com/join> でアカウントを作成する。  
この時、「Username」には希望する ID を英数字で入力する。この「Username」は、公開ペー

ジの URL で `https://github.com/Username` として使われる。

## 4.2 SSH 公開鍵の作成

GitHub では、作成したリポジトリへのアクセス認証を SSH を利用した公開鍵認証で行う。以下のように SSH Key を作成する。

```
ssh -keygen -t rsa -C "your_email@example.com"
```

(passphrase は「なし」=「何も入力しないで Enter」でよい。)

この結果、`~/.ssh/` に、`id_rsa` という秘密鍵ファイルと、`id_rsa.pub` という公開鍵ファイルが作成される。

## 4.3 GitHub への SSH 公開鍵の登録

GitHub の web ページの右上のアカウント設定ボタン (Account Settings) を押し、「SSH Key」のメニューを選択する。

- Title に適当な鍵の名前 (例えば「MacBookAirKey」など) を入力する。
- Key には、`id_rsa.pub` の内容をコピーして貼り付ける。

公開鍵の登録に成功すると、登録したメールアドレスに公開鍵登録完了のメールが届く。

動作確認を以下のとおり行う。

```
$ ssh -T git@github.com
```

(「Are you sure you want to continue connecting (yes/no)?」には、yes と入力する。)

次のように表示されれば成功。

```
Hi Username! You've successfully authenticated,  
but GitHub does not provide shell access.
```

# 5 GitHub の使い方

## 5.1 リポジトリの作成

GitHub の web ページの右上の「+」をクリック後、「New repository」をクリックする。リポジトリの情報を以下のように入力する。

- Repository name: レポジトリの名前 (例えば Hello-World など)
- Description: レポジトリの説明 (省略可)
- Public、Private: 公開か非公開かを決める。

- Initialize this repository with a REAEME: チェックを入れる。
- Add .gitignore: プルダウンメニューでこのレポジトリで管理する言語やフレームワーク (Python、C++、Tex など) を選択することで、Git レポジトリでの管理対象外のファイル・ディレクトリを自動で指定してくれる。
- Add a licence: MIT ライセンス<sup>1</sup>を選ぶ。

## 5.2

---

<sup>1</sup>MIT Licence: 1. このソフトウェアを誰でも無償で無制限に扱って良い。ただし、著作権表示および本許諾表示をソフトウェアのすべての複製または重要な部分に記載しなければならない。2. 作者または著作権者は、ソフトウェアに関してなんら責任を負わない。